

食と農と暮らしと。あなたをリードするアクティブ・マガジン

かながわ西湘

2025

8

vol.227



農業を生業に

大澤 豊さん④
誠さん⑤
稔さん⑥

大井／大井町金子

トウモロコシ2ha、露地野菜
3haを栽培

大井町金子の畑で甘い実が
ずっしりと詰まったトウモロ
コシを収穫する大澤さん兄弟
代々続く農家で育った兄弟は
大学を卒業後、異業種に勤め
たのち、16年前に長男の豊さ
んと三男の稔さんが就農。平
成25年には長男の豊さんが代
表を務める『株式会社オオサ
ワファーム』を立ち上げまし
た。8年前に次男の誠さんも
加わり一家で農業を生業にし
ています。

今では従業員5名とともに
露地野菜を約5ha栽培。土づ
くりには特に力を入れ、近隣
の企業からの副産物を仕入れ
土に混ぜ込んだり、ヒマワリ
を栽培して緑肥にしたりして
います。そのおかげで土壌の
栄養が豊富になり、作物は格
別なおいしさになります。

夏場のメインはトウモロコ
シで『ホワイトシヨクラ』や
『ドルチェドリーム』の品種
を栽培。6月上旬から7月下
旬まで、『朝ドラファーム』
や道の駅『足柄・金太郎のふ
るさと』に出荷しています。
豊さんは「家族を守るよう
な稼げる農業を兄弟で力を合
わせてやってきたい」と意欲
を見せています。

10年後のありたい姿へ

「キャッチフレーズは**未来志向**」

第19期通常総代会が6月26日、小田原三の丸ホールで開かれました。令和6年度の事業報告及び剰余金処分案の承認と第7次3か年計画及び令和7年度事業計画など6つの議案すべてが承認されました。総代会終了後に開かれた臨時理事会、臨時監事会では常勤役員が選任され、組合長に天野信一氏が再任。新たな執行体制のもと、持続可能な経営基盤と組織基盤の確立・強化に取り組んでまいります。

※新役員は6・7ページに掲載。

総代会の出席者は本人出席378人、書面出席391人の合計769人。JA綱領唱和の後、議案審議に先立ち天野組合長より、保有する有価証券の含み損が膨らんだことで売却に至った経過、また昨年4月から店舗機能の見直しで固定資産の減損処理を行ったことで当期は赤字決算となり、令和6年度

における事業利用分量配当金がお支払いできないことについてお詫びのあいさつがありました。「令和7年度は、事業利益が計上できるよう役職員一丸となつて取り組んでまいりますので、ご支援・ご協力をお願いいたします」とご理解を呼びかけました。議案審議では清水支店の尾崎利一さんが議長に選ばれ、提出された6つの



役員選任で投票する総代

議案を審議しました。第4号議案『役員の選任について』では、書面議決に加え、出席総代の投票により、理事32名、監事7名が承認されました。なお、令和6年度の出資配当

金は、出資金の期中平均残高に対し2・0％の割合で組合員に配当いたします。

第7次3か年計画

令和7年度は当JAの中期経営計画となる3か年計画を策定する年度となります。令和7年度から9年度までを期間とする第7次3か年計画では、10年後のありたい姿をビジョンに掲げ、『農業』『地域』『人財』『経営』の4つの柱を中心に展開します。特に『農業』では「持続可能な農業経営」の実現に向け、農業継続支援・担い手の確保対策に取り組んでまいります。

審議された6議案

- 第1号議案 第19期（令和6年度）事業報告及び剰余金処分案の承認について
- 第2号議案 定款の一部変更について
- 第3号議案 第7次3か年計画（令和7年度～令和9年度）及び第20期（令和7年度）事業計画の設定について
- 第4号議案 役員の選任について
- 第5号議案 役員報酬について
- 第6号議案 退任理事及び退任監事に対する慰労金の贈呈について

就任のごあいさつ

代表理事組合長

天野 信一
あまの しんいち



このたび、役員の任期満了に伴い、第19期通常総代会において役員推薦を受け、その後の臨時理事会において代表理事組合長に就任いたしました天野でございます。微力ではありますが、組合員、そして地域の方々に支えられている組織であることの自覚と誇りを持ち、役員として与えられた職責を真摯に受け止め、皆さまに信頼されるJA運営に務めてまいりますので、ご指導、ご支援を切にお願い申し上げます。

さて、農業・JAを取り巻く情勢は厳しくもあり、課題は山積しておりますが、昨年、農政の憲法といえる、『食料・農業・農村基本法』が四半世紀ぶりに改正され、本

年4月には基本計画が決定されました。適正な農産物の価格形成など期待されるところであります。農業は人の命をつなぐ大事な産業であります。今、まさに農業の成長戦略、食料安全保障の確立が求められているといえます。

令和7年度は第7次3か年計画、第6次地域農業振興計画の初年度であり、持続可能な地域農業の実現に向けた担い手対策や農業所得の向上が必要となります。また、将来にわたる持続可能な組織基盤や経営基盤確立に向けた組合員の協同活動の促進も重要です。JAでは新エリア構想による店舗再構築など、経営安定に向け一歩ずつ着実に実践してまいります。

これからも「総合事業を通して心豊かな暮らしの実現に貢献します」という組合理念に基づき、組合員、地域の皆さまに信頼され、必要とされる組織となるよう、役職員一丸となつて各事業活動に邁進してまいります。皆さまのより一層のご理解・ご協力をお願い申し上げます。就任のご挨拶とさせていただきます。

第7次3か年計画 JAかながわ西湘のビジョン～10年後のありたい姿～

JAでは、目指す10年後のありたい姿を『ビジョン』として掲げ、これらに取り組む姿勢を『キャッチフレーズ』として展開し、事業に取り組んでいます。ビジョンは重要な4つの柱、『農業』『地域』『人財』『経営』を中心に展開しています。

総代会で承認された『第7次3か年計画』では、4つの柱の文字をとり、『未来志向』をキャッチフレーズとしました。それぞれの掲げた目標の達成、さらにはありたい姿の実現に向け、役職員一丸となって取り組みます。



JAかながわ西湘 ビジョン 未来志向

農業

未来への農業支援

『持続可能な農業経営』を実現するため、担い手と農業所得向上に取り組めます。

1. 持続可能な農業の実現に向けた農業継続支援・担い手の確保対策
2. 農業者の所得増大
3. 農業経営力の向上

地域

将来へつなぐ組織基盤強化

将来へつないでいく組織基盤の確立と組合員の協同活動を促進します。

1. 持続可能な協同組合としての組織基盤強化
2. 准組合員とJA・農業との関係強化
3. 広報活動の充実による組織強化・農業の理解促進

人財

協同組合の志を高める

協同組合活動を理解し、志を高く持つ人材育成に努めます。

1. 協同組合らしい人づくり
2. 組合員から必要とされる専門知識向上への取り組み
3. 法令制度改正等に対応した適切な人事労務管理

経営

総合的経営力の向上

持続可能な経営基盤の確立のため、総合事業を通じた経営力向上に努めます。

1. JA総合力の発揮
2. 持続可能な協同組合としての経営基盤強化
3. 経営管理態勢の強化

理事会だより

～主な議題～

令和7年6月24日

◆中核的担い手・認定農業者への戸別訪問について

JA自己改革工程表に基づく対話運動の一環として、常勤役員や支店長、営農経済センター長による中核的担い手と認定農業者への戸別訪問を実施することが報告されました。時期は令和7年8月から10月末まで、100件以上の総訪問件数を見込んでいます。

◆第78回神奈川県農協大会組合員表彰者の推薦について

令和7年11月21日（金）に厚木市で開かれる県農協大会の組合員表彰について報告があり、当JAからは計27名の表彰者を各支店運営委員会等で推薦することとなりました。

◆令和7年度事業説明会開催結果について

令和7年度の事業説明会は、6月10日（火）～17日（火）の6日間、各支店25会場で開催されました。合計で組合員580名の出席があり、ご意見や要望に対するJAとしての回答が報告されました。（詳細は4・5ページ参照）

令和7年度 事業説明会の意見について一部抜粋して紹介いたします。

① 組織

Q 支店運営委員会に出席していない方も事業説明会で出された質問や意見を確認できる方法はあるのか。

A 各会場でのご意見は支店運営委員会で報告しています。支部長が各支部へ報告されていますが、直接支店へ問い合わせいただければ回答いたします。

Q 支店運営委員会で協議した内容を知りたい。

A 昨年、支店運営委員会のあり方検討会を実施し、今後は、地域の問題について運営委員会で検討していただくこととなりました。検討された内容については支



店で多くの方に周知する事項であれば、回覧等で報告していきます。

② 営農・経済

Q 今年は米の単価が下がっている。注目も高まっており、今後の米作りをどうするか考える時期なので、JAだけでなく行政も巻き込んで取り組んでもらいたい。

A 日本の農政を考える時期と考えています。国策として考えていかないと進まない内容で、良い機会であると考えています。

Q 朝ドラファームで米を販売しているが、その米はどのようなルートで入ってくるのか。また販売金額を知りたい。

A 全農からの買戻し分と当JAが行っている農業経営で収穫した米を販売しています。金額については、現在（回答当時）5kg 3,780円で販売しております。消費者に少しでも安

く提供したいと考えています。

Q 米価は、今まで銘柄によって違っていたが今年は一律になっているのはなぜか。

A 農家によつては早生ではなく中生の品種を栽培している方もおり、品種に関係なく一律の価格で交渉しました。8月下旬には具体的な概算金額を提示します。

Q 水稻苗の値段が上がっている原因は何か。

A 水稻苗は管内4か所の育苗組合が生産していますが供給量が足りず、JAふじ伊豆（旧JA御殿場）より購入しております。昨今、稲種や肥料等のコストが上がっているため、生産者と相談しながら値段設定しておりますのでご理解願います。

Q 湘南ゴールドについて目標数字が出ていないが、JAとしてどのような取り組みを考えているのか教えてください。

A 平成17年度は全体で600kgでしたが、令和6年度は197tの集荷でした。現在の生産者は200名ほどおりますので、今後も積極的な取り組みをしていきたいと考えています。朝ドラファームでは昨年15t、その前は13tほど売り上げがあります。今後も組合員の所得向上に努めてまいります。

Q 耕作放棄地が増えており、10年後は誰が耕作するのか。JAはどのように考えているのか。

A JAでは事業として水稻とキウイフルーツを栽培していますが、すべての耕作放棄地に対応できないため、あくまでも経過措置であります。なお、JAでは委託事業も行っています。今一番進めているのは地域の問題を地域で解決できるような仕組みづくりができないか模索しています。支店運営委員会や行政とも連携して進めたいと思います。

Q 農業支援隊の取り組みについて知りたい。

A 現在、農業支援隊は68名ほど在籍しております。メンバーには准組合員や組合員外の方もいます。主に田植等の水稻作業を請け負っていますが、キウイフルーツやミカンのせん定作業も行っています。今後も隊員を増やし、組合員の期待に応えていきます。

Q 豪雨等により農地などに被害が発生した際、引き続き迅速に対応と支援をしていただきたい。行政に先んじてJA独自に災害救助用物資の放出などさまざまな対策を思い切つてやってほしい。

A 当JAでは独自に農地災害復旧事業補助金を令和4年4月に講じました。令和7年度も引き続きこの要綱に基づき対応していきます。

Q 農業、肥料など農産物生産コストの低減に一層鋭意に取り組み、農業所得増大に直結してほしい。

A 農薬や肥料の助成は地域農業応援プログラムを活用し、10%値引き分の2,600万円ほど助成しております。これからの3か年計画でも毎年5,000万円ほど助成ができるよう計画しております。肥料や生産資材の高騰については苦労されていると思いますので、ぜひ応援プログラムを活用願います。

イロットに依頼し、飛行申請の許可が必要です。広報誌7月号にもご案内しておりますが、JAを通じてドローンの農薬散布ができますので活用ください。

Q カメムシの薬が効きにくくなってきている。農家個人ごとに駆除を行うには限界があるので、JA主導で地域全体で大規模な駆除を行ってほしい。

Q ネットショップは大変助かっているが、納期未定なものは注文中と表示され、入荷時期がわからない。農薬などは時期があるので、入荷できないものがわかるようにしてほしい。

A JAでは、ドローンを使った散布を始めています。地区一行で行うことが有効であることから、近隣の方と協力していただきたいと思っています。

A 全農のシステムを利用しているので要望を伝え、バージョンアップできるように働きかけていきます。また、営農経済センターと連携し対応を検討してまいります。

A JA設立以来初めての当期損失金となります。1つは新エリア構想に基づく固定資産の減損処理を行ったこと、もう1つは、金利上昇に伴い債券価格が下落し、受益証券を売却したためです。農林中金とは関係ありません。

Q 当期損失金について、受益証券の売却は農林中金における一連の損失と関係があるのか。

③ 信用・共済

Q ドローンの利用について、以前は県内全域で禁止だったが、当JA管内でどのように稼働しているのか。

Q 有価証券の売却損に至った経過について説明してほしい。

A ドローンの利用制限は3年前に解除されました。農薬散布についてはパ

A 皆さまからお預かりしています貯金は、4,400億円があります。そのうち1,000億円を貸出金として運用しております。約3,000億円は神奈川県

④ 総務・企画

Q JAとしての今後のビジョンを明確にしてほしい。

A JAは農業を基本としていきますので、販売事業を伸ばすことで組合員の農業所得を上げていきたいと思っています。今後も農業所得の増大に向け取り組み強化をはかり、米の取扱量も増やしていきたいと思っています。

Q 今後、JAを運営していくうえで正組合員と准組合員の垣根をなくしていく必要があるのではないかと、正組合員が減少していく中、正組合員というだけで役員をしているケースが多い。今後、准組合員も総代会に出席してもらいJAについて理解してもらわなければこの先、厳しいと思う。3か年計画などを策定するうえで改正してほしい。

A 当JAは農林中金の直接会員ではありませんが、会員の神奈川県信連は増資をしました。農林中金の赤字計上による影響として、格付会社による評価では、投資適格先として評価をされています。

Q 農林中金への増資の影響はあるのか。

が加入しております。今後、検討していきます。



事業説明会では155件の意見や要望が出されました

役員の新執行体制

理事32人、監事7人を選任（敬称略）



営農経済担当常務
ねもと しゅうじ
根本 秀司
小田原市西大友



金融共済担当常務
あわ え たかひろ
粟生 高弘
真鶴町岩



総務管理担当常務
ほし の しんいち
星野 真一
小田原市久野



代表理事専務
いしづか ゆういち
石塚 祐一
小田原市前川



代表理事組合長
あま の しんいち
天野 信一
小田原市鴨宮



理事
いし い ひさよし
石井 久喜
小田原市東町



理事
みつ ぎ くにまさ
三津木 國昌
小田原市鴨宮



理事
おざわ しげる
小澤 茂
小田原市栢山



理事
なか と がわ きよあき
中戸川 清明
小田原市扇町



理事
すず き あきら
鈴木 明
小田原市久野



理事
すず き かずまさ
鈴木 一正
小田原市石橋



理事
しもかわ まさかつ
下川 政克
小田原市田島



理事
あきさわ まさみ
秋澤 雅美
小田原市沼代



理事
ほ さか たつ お
穂坂 達夫
小田原市曾我原



理事
おくつ よういち
奥津 洋一
小田原市桑原



理事
もろ ほし わたる
諸星 渉
真鶴町岩



理事
ちからいし つよし
力石 剛
湯河原町吉浜



理事
さくら い よういち
櫻井 洋一
湯河原町門川



理事
こ ばやし とくよし
小林 徳義
箱根町仙石原



理事
あお き やすなり
青木 太成
小田原市早川



理事
たけ い あつし
武井 敦
山北町岸



理事
きりゆう ちはる
桐生 千春
松田町寄



理事
ごんのかみ あきら
権守 章
中井町比奈窪



理事
せ と のぶ お
瀬戸 伸夫
大井町山田



理事
いのうえ たくじ
井上 卓司
大井町西大井



理事
ふ かわ まさひろ
府川 真啓
開成町牛島



理事
か とう やすのぶ
加藤 安信
南足柄市壺下



理事
おいぬま まさみつ
生沼 正光
南足柄市和田河原



理事
あら い こういち
荒井 幸一
南足柄市狩野



理事
たか はし きよかず
高橋 清和
山北町中川



監事
いちかわ てるいち
市川 昭一
小田原市鬼柳



常勤監事
いちかわ ともなほ
市川 智直
南足柄市怒田



代表監事
いしかわ けんさく
石川 建作
南足柄市矢倉沢



理事
むろふし ち あき
室伏 千秋
湯河原町宮下



理事
おおもり ちづ こ
大森 千津子
大井町篠窪



員外監事
なり た ゆきやす
成田 幸保
伊勢原市田中



監事
いゐやま とみ お
飯山 富夫
松田町松田庶子



監事
えの もと まさゆき
榎本 昌之
湯河原町鍛冶屋



監事
あきやま よしかず
秋山 芳一
小田原市風祭

役員の任期満了に伴い、理事16人（うち非常勤15人）、監事1人（うち非常勤1人）が退任されました。

退任された役員（理事・監事）は次の通りです（敬称略、カッコ内は前役職名）。

宇留間優（代表理事専務） 渡邊干城（理事） 込山文雄（同） 川口満（同） 山田昌良（同） 神谷清道（同）
本多久義（同） 松本隆博（同） 廣川康治（同） 権守忠義（同） 荻野巖（同） 細谷善國（同） 磯崎直司（同）
加藤廣志（同） 露木勇夫（同） 市川昭代（同） 菅谷学（代表監事）

新役員の選任および茶業センターの定時株主総会、取締役会での協議により、同センターの執行体制が決まりました。
代表取締役社長 天野 信一 専務取締役 細野 克巳

ブロッコリーの栽培ポイント

根こぶ病の多発ほ場では、ダイコンを除くアブラナ科野菜の作付けは避けましょう

畑の準備……苦土石灰（10kg／a）、堆肥（100kg／a）を定植の2週間前までに施しておきます。

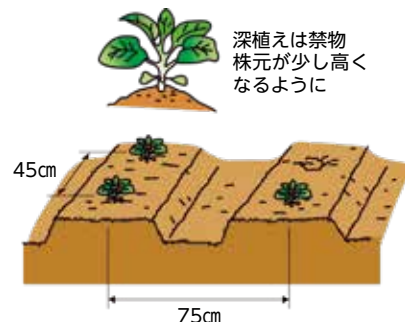
育苗……種まき セルトレイに2粒ずつまきます。育苗は寒冷紗などで遮光し、ブロックなどで地面から離れたほうがよいでしょう。 ※播種量の目安：5～7m²/a
発芽した芽が揃ったら混み合っているところを間引きします。

移植 本葉2枚くらいになった頃に12cm×12cmの間隔に苗床に移植し、本葉6～7枚で定植します。ポリポット（3号）での育苗も可能。定植時には苗床に十分かん水し、根を多く付けるようにして苗取りします。

元 肥……

(1a当たり使用量)

肥料名	使用量	施肥時期
燐加安MMB262号	10kg	定植前
BMようりん	2.5kg	



定 植……株間45cm、うね間75cm 定植本数の目安：300本／a
水はけが良くなるように株元を少し高くして定植します。（深植えは厳禁）

モモヒメヨコバイに注意！

モモヒメヨコバイはウメ、モモ、スモモ等の核果類に寄生する外来害虫です。令和元年に和歌山県で確認され、本州、四国、九州に拡大し、神奈川県では令和4年9月に発生が確認されて以降、3年間で管内のどこの地域でも発生がみられるほど急速に拡大しています。

【症状 生態】

- 発生は3～4月から見られますが、ウメの収穫時期には園地で見られなくなり、7～8月、10～11月に多く発生し被害をあたえます。
- 梅雨明け以降、気温が上がり乾燥が続くと寄生が急拡大し、降雨が続くと抑制されます。
- 葉に寄生すると吸汁被害を起こし、葉色が徐々に薄くなり、白化します。その後、9月～10月に早期落葉を引き起こします。葉の被害面積の割合が50～70%以上だと光合成能力に影響するといわれています。

【対策】

- 7月以降、収穫後、園地に行く機会は減ると思いますが、発生を確認して、必ず防除しましょう。
- 葉裏までしっかりと散布することが重要です。

※防除についての詳細は各地区の営農経済センターだよりを参考にしてください。

営農経済センター
だよりは



▲
こちらから



SG21令和7年度新規会員募集について

SG21（湘南ゴールド生産・販売組織）では、栽培講習会などを通して会員の技術向上支援を行っています。下記の通り、令和7年度新規会員を募集いたしますので、加入希望の方はお申し込みください。

- ・事業年度：令和7年7月1日（火）～令和8年6月30日（火）
- ・年会費：1,000円／年額
- ・申し込み：各営農経済センター及び山北支店・中井支店
- ・申込期限：令和7年8月29日（金）まで
- ・お問合せ：営農部営農指導課 ☎0465(46)6950

摘果講習会
の様子



令和6年度 朝ドレファ〜ミ♪事業報告会

J Aは6月25日、小田原市の梅の里センターで『令和6年度朝ドレファ〜ミ♪事業報告会』を開きました。出荷者約70人が参加し、2024年度の事業実績等を確認。店舗売上額が成田店は前年比104.6%、ハルネ店は103%と好調でした。

表彰授与も行われ、出荷協力会役員を8期務めた浦井貫之委員長とそれぞれの部門（野菜・果樹・加工品・花き）の中で昨年度より販売数の増加率が多かった4名を表彰。出荷協力会の新役員も発表されました。

また、『新しい品種紹介と高温・猛暑対策』をテーマに講演が行われ、暑さに強い品種の紹介や高温乾燥時の対策として遮熱資材や耐暑性のバイオスティミュラント※の活用があげられました。参加者は「講演で学んだことを参考に、今年の夏を乗り切りたい」意気込みました。

※植物に対する非生物的ストレスを制御して気象や土壌のコンディションによる植物のダメージを軽減し、健全な植物を提供する新しい技術



講演会の様子



表彰を受ける穂坂さん

受賞者（敬称略。カッコ内は受賞理由）

- 浦井貫之（出荷協力会役員として8期務める）
- 小澤由香（野菜部門において前年より多く出荷）
- 齋藤一男（果樹部門において前年より多く出荷）
- 穂坂欽也（加工品部門において前年より多く出荷）
- 石田匡樹（花き部門において前年より多く出荷）

浦井さんより一言

皆さんのおかげで出荷協力会役員と委員長を務めることができました。ありがとうございました。朝ドレファ〜ミ♪のスタッフも出荷仲間もみんなで一丸となって協力してきたので、よいものを消費者へ届けることができました。いいものを出せば、売れます。これからも仲間たちとルールを守って出荷し、朝ドレファ〜ミ♪を盛り上げていきたいと思っています。



浦井貫之さん

新役員（敬称略）

- | | |
|-----------|----------|
| 出荷協力会委員長 | 枝野吉光（左） |
| 出荷協力会副委員長 | 神保薫（中央左） |
| 出荷協力会 | 岸義行（中央右） |
| 出荷協力会 | 廣井弘義（右） |



出荷協力会新委員長の枝野吉光さん

出荷協力会新委員長の枝野さんより一言

高温や天候不順により農作物の栽培が難しくなっています。今年も高温が予想されますので、暑くても作物が育つよう工夫し、消費者が喜ぶ農作物をお届けしたいと思います。

朝ドレファ〜ミ♪は生産者と消費者をつなぐ、地産地消の拠点です。皆さんの協力がなければ成り立ちません。力を合わせて所得向上を目指しながら、地域に貢献していきたいと思っています。ご協力よろしくお願いいたします。

感謝の気持ちを込めて

～大井支店管内の菅谷さんがそば打ち～

大井町金手の菅谷さんが6月16日、女性部大井支部の役員会で、でき立てのそばを振舞いました。菅谷さんはそば打ち歴20年の地元でも有名なそば打ち名人。近所に振舞ったり、打ち方を教えたりするなどしています。今回はお世話になった役員に感謝の気持ちを伝えたいと、この会を計画しました。

当日は部員に生地のこね方など作り方のポイントを伝えながら、そば打ちを披露。最後はおいしいゆで方を伝授し、みんなで味わい交流を深めました。部員は「味わい深くコシも良く、おいしかった。菅谷さんの技は魔法のようだった」と笑顔を見せました。



そば打ちを披露する菅谷さん㊤

未来に向けて賢く貯めよう

～PTA向け金融セミナー～

金融共済部は6月20日、岡本小学校PTAが主催する家庭教育学級で保護者向け金融セミナー『子どもの未来～子どもにこれからかかるお金と賢く貯める教育費～』を開きました。当日はJA神奈川県信連職員が、現在続いている物価高や将来かかる教育費について解説し、「投資は投機とは違って怖いものではない。未来に向けて備える手段として資産形成を考えてもらえたら。ぜひJAへ相談してほしい」と案内。保護者たちは熱心に耳を傾けていました。

JAでは今後も保護者や子ども向けの金融セミナーを開催していく考えです。



熱心に話を聞く保護者たち

農業の大切さを学ぶ

～田んぼの生き物調査～

田んぼの生き物を見つけよう――。JAは6月22日に小田原市成田の水田で『田んぼの生き物調査』を開きました。親子11組36人が参加し、水田が持つ役割と生き物の関わりについて学びました。当日はJA全農かながわが協力。講師の大武勇さんが「まずは、田んぼの中をじっくりと観察してから生き物を捕まえよう」とアドバイスしました。捕まえた生き物は、図鑑を使って親子で調査。この日は28種類の生き物が田んぼにいました。参加者は「おコメの輸入なども話題になっているが、生き物がたくさんいる自然を守っていく、地元産が食べ続けられるよう農業を応援していきたい」と話しました。



図鑑を使って捕まえた生き物を調査

味と香りの足柄茶をPR

〜川崎競馬の協賛レースで〜

足柄茶100周年記念事業実行委員会は6月20日、川崎競馬場で『足柄茶100周年記念協賛レース』を実施しました。第11レースが『神奈川県産の味と香りの足柄茶 足柄茶100周年記念杯』となり、ドリームビジョンでPR動画を放映。また、優勝馬関係者には足柄茶が贈られ、SNSで足柄茶を使ったお菓子が当たる勝ち馬当てクイズも行われました。

会場では、新茶を試飲販売。うま味・甘み・渋みのバランスがとれた味わいが人気を集めていました。同委員会では「100周年を機に多くの人に味と香りの足柄茶を味わってもらい、ファンになってもらいたい」と期待を寄せています。



ドリーム
ビジョン
の様子



会場で足柄茶を販売

地域に広がれ地産地消

〜久野小学校が農園活動〜



収穫を楽しむ児童 ⑥手前 廣川和江さん

小田原市立久野小学校では、組合員の協力のもと全学年で農園活動に取り組んでいます。6月23日には同校の2年生の児童43人がタマネギの収穫を行いました。栽培指導は久野支店管内の廣川登さんと和江さん夫婦。昨年11月の1年生の時に植え付けました。当日は約300個を収穫。収穫したタマネギは自宅に持ち帰りました。児童からは「お母さんにカレーライスをつくってもらおう」「みそ汁の具にして食べたい」などの声があがりました。同校ではジャガイモやサトイモ、サツマイモ、米などの栽培にも取り組んでいます。

青壮年部が田植え体験に協力

〜中井支部が中村小児童を指導〜

青壮年部中井支部は6月9日、中井町に協力し、中井町比奈窪にある約10aの水田で中村小学校5年生に田植えを指導しました。

当日、佐々木翔大支部長が「苗の半分より下ぐらいまで植えてください」と指導すると、水田に張ったロープを目印に、児童や同町の農業委員、町職員やJA職員と丁寧に植えていきました。児童は「ドキドキしたけど楽しかった。お米作りに多くの手間がかかっていることが分かった」と笑顔で話しました。佐々木支部長は「子どもたちにとって良い経験になったのでは。今後協力し、地域の皆さんとの交流を深めていきたい」と抱負を語りました。



稲を手に植え方を指導する佐々木支部長

インフォメーション

JAの健診

健康で楽しい毎日のために
年に一度は受診をおすすめします！

送迎付き団体日帰り人間ドック 支店別日程

支店名	健診日
中井・井ノ口	令和7年10月 8日 (水)
	令和7年10月23日 (木)
久野	令和7年11月 7日 (金)
中井・井ノ口	令和7年11月10日 (月)
山北	令和7年12月 4日 (木)
相和	令和8年 1月14日 (水)
松田	令和8年 1月21日 (水)
開成	令和8年 2月18日 (水)

※健診場所は健康管理センターあつぎ
厚木市酒井3132 ☎046(229)3731

送迎付き子宮・乳がん検診支店別日程

支店名	検診日
久野	令和7年10月 6日 (月)
成田	令和7年10月24日 (金)
片浦	令和7年11月13日 (木)
城南	
報徳	令和7年11月20日 (木)
下府中	
曾我の里	令和7年12月18日 (木)
国府津	

※検診場所は健康管理センターあつぎ
厚木市酒井3132 ☎046(229)3731

生活習慣病健診日程

健診日	令和7年10月 3日 (金)
-----	----------------

※健診場所はJA本店 小田原市鴨宮627 ☎0465(47)8183

※支店によっては募集が終了している
こともあります。申込みやお問合せ
は各支店まで



大特価

展示即売会

雨天決行

肥料・農薬・飲料販売等

※当日販売できる肥料には数に限りがあります
※売り切れの際には後日、以下の場所での引き取りになります



開催日	時間	場所	連絡先
令和7年 9月 6日 (土)	9:00~11:30	湯河原宮農経済センター (湯河原町中央4-1-1)	☎0465(62)6149
令和7年 9月20日 (土)	9:00~13:00	山北支店 (山北町山北211)	☎0465(75)1311

各種セミナー(相続・遺言/資産形成・運用/年金)開催!!

これからの人生、お金や将来に向けた不安がありませんか?
その不安の解消、JAがお手伝いします!

参加無料

日程	内容	支店	開催場所	開催時間
令和7年 8月 9日 (土)	相続・遺言	下府中・酒匂・国府津・下中	JA本店大会議室	10:00~
令和7年 8月23日 (土)	資産形成・運用	山北・清水・開成	開成支店	10:00~
令和7年 9月 6日 (土)	相続・遺言	足柄	足柄支店	10:00~
令和7年 9月20日 (土)	相続・遺言	中井・井ノ口	中井支店	10:00~
令和7年 9月27日 (土)	年金	大井・相和・松田	大井支店	10:00~
令和7年10月 4日 (土)	資産形成・運用	足柄	足柄支店	10:00~
令和7年10月18日 (土)	資産形成・運用	南足柄・岡本・福沢	南足柄支店	10:00~
令和7年11月22日 (土)	相続・遺言	片浦・城南・箱根	城南支店	10:00~
令和7年12月13日 (土)	年金	足柄	足柄支店	10:00~

※要予約。予約については最寄りの支店へお問合せください

JAかながわ西湘

JAかながわ西湘は2025年国際協同組合年
(IYC2025)に賛同しています



国際協同組合年

協同組合はよりよい世界を築きます



JAかながわ西湘

本店 〒250-0874 神奈川県小田原市鴨宮627番地
TEL:0465(47)8125

●かながわ西湘 8月号 (vol.227) 令和7年7月20日 (毎月20日発行)
●発行/かながわ西湘農業協同組合 ●発行責任者/石塚祐一
●編集/組織企画部組織広報課

JAかながわ西湘ホームページ▶<https://ja-kanasei.or.jp/> かながわ西湘

